

平成21年度

飯田市立病院概要

第15号



飯田市立病院

飯田市立病院 基本理念

**私たちは、地域の皆さんの健康を支え
信頼される医療を実践します**

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、

誠意 熱意 創意

をもって医療を実践します

飯田市立病院

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。

また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで十分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいかない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

「患者の権利と責任」

5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。

患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。

人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。

平成 20 年 11 月 1 日改訂

目 次

1. 概 要	5
2. 飯田市立病院組織図	8
3. 沿 革	9
4. 飯田市立病院委員会等組織表	10
5. 飯田市立病院の施設の特色	11
6. 職員に関する事項	12
7. 平成20年度飯田市立病院事業報告	
(1) 概 況	13
(2) 患者の年度別状況	16
(3) 平成20年度飯田市立病院事業決算報告書	16
(4) 平成20年度飯田市立病院事業決算報告書	18
(5) 飯田市立病院事業損益計算書	20
(6) 飯田市立病院事業剰余金計算書	21
(7) 飯田市立病院事業貸借対照表	22
(8) 経営分析に関する調	24
(9) 財務分析に関する調	27
8. 業務の状況	
(1) 飯田市立病院患者動向統計	29
(2) 各科業務量	31
9. クリニカルインディケータ	
(1) ICU入室及び再入室患者数(48時間以内)	40
(2) 褥瘡深達度(ステージ)	40
(3) 予定しない再手術件数	40

1. 概 要

・所 在 地 飯田市八幡町438番地

・開設年月日 当 初 昭 和 26 年 3 月 12 日 開設許可
昭和 26 年 12 月 3 日 診療開始
新病院 平 成 2 年 7 月 4 日 開設許可
平成 4 年 10 月 25 日 診療開始

・病 床 数 一 般 病 床 403床 (うち救急ICU 2床、ICU 4床、NICU 3床)
感染症病床 4床 (平成11年4月1日から)

・診 療 科 目 32 科

内	科 (昭和26年12月)	循 環 器 内 科	(平成20年4月 医療法施行令改正 に伴う科名変更等)
外	科 (昭和 27 年 6 月)		
整 形 外 科	(昭和 29 年 6 月)	呼 吸 器 内 科	(")
麻 酔 科	(昭和 48 年 4 月)	消 化 器 内 科	(")
小 児 科	(昭和 49 年 1 月)	内 分 泌 内 科	(")
脳 神 経 外 科	(昭和 51 年 5 月)	糖 尿 病 代 謝 内 科	(")
神 経 内 科	(昭和 51 年 12 月)	腎 臓 内 科	(")
泌 尿 器 科	(昭和 53 年 4 月)	消 化 器 外 科	(")
形 成 外 科	(昭和 54 年 9 月)	乳 腺 外 科	(")
眼	科 (昭和 63 年 10 月)	病 理 診 断 科	(")
呼 吸 器 外 科	(平成 元 年 4 月)	臨 床 検 査 科	(")
心 臓 血 管 外 科	(")	救 急 科	(")
産 婦 人 科	(")	緩 和 ケ ア 内 科	(平成 21 年 9 月)
耳 鼻 い ん こ う 科	(平成 元 年 10 月)		
放 射 線 科	(平成 4 年 10 月)		
皮 膚 科	(平成 5 年 4 月)		
歯	科 (平成 7 年 7 月)		
リ ウ マ チ 科	(平成 9 年 1 月)		
リハビリテーション科	(")		
歯 科 口 腔 外 科	(")		

・各種指定

D P C対象病院

地域医療支援病院

地域がん診療連携拠点

新型救命救急センター

病院臨床研修病院

臨床修練指定病院

救急指定病院

長野県心疾患基幹病院

原子爆弾被爆者医療等指定医療機関

エイズ治療拠点病院

指定自立支援医療機関（育成医療・厚生医療）

日本内科学会内科専門医教育関連病院

日本消化器内視鏡学会認定指導施設

日本呼吸器学会認定医制度認定施設

日本外科学会認定医制度修練施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設

日本胸部外科学会認定医制度関連施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本麻酔学会麻酔指導病院

日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

日本ペインクリニック学会指定研修施設

日本循環器学会循環器専門医研修施設

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設

日本歯科口腔外科専門医制度研修機関

日本内分泌代謝科認定教育施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本老年医学会認定施設

日本周産期・新生児医学会専門医研修施設

マンモグラフィ検診施設

財団法人日本医療機能評価機構による
病院機能評価「一般病院」
更新認定（平成 17 年 1 月 24 日）

歯科医臨床研修施設

第二種感染症指定医療機関

地域周産期母子医療センター

災害拠点病院

指定養育医療機関

労災保険指定医療機関

外科後処置診療指定医療機関

日本神経学会認定医制度教育施設

日本腎臓学会専門医研修施設

日本脳卒中学会専門医研修教育施設

日本乳癌学会認定施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本脳神経外科学会専門医訓練場所

日本小児科学会認定医制度研修施設

日本核医学会認定医教育病院

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本形成外科学会専門医制度認定施設

日本病理学会登録施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本超音波医学会認定専門医研修施設

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本リウマチ学会教育施設

日本老年医学認定施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本医学放射線学会専門医修練協力機関

日本救急医学会専門医指定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設

長野県DMA T 指定病院

・施設の概要

敷地面積

66,419.39 m²

建築面積

本

館

延べ 25,803.51 m² 鉄骨鉄筋コンクリート造
(一部鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 6 階)

附

属

棟

等

501.26 m² 鉄骨鉄筋コンクリート造
(一部鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 1 階)

206.33 m² 車庫等付属家

看

護

師

宿

延べ 393.60 m² 鉄筋コンクリート造 3 階建 1 棟 15 戸

医

師

住

宅

木造 1 戸建 18 戸

職

員

宿

舎

380.70 m² 鉄筋コンクリート造 3 階建 1 棟 9 戸

看

護

師

養

413.62 m² 鉄筋コンクリート造 2 階のみ

感

染

症

病

245.48 m² 鉄筋コンクリート造 1 階のみ

場

外

離

着

2,755.89 m²

臨

床

研

修

606.31 m² 鉄骨造 3 階建

院

内

保

育

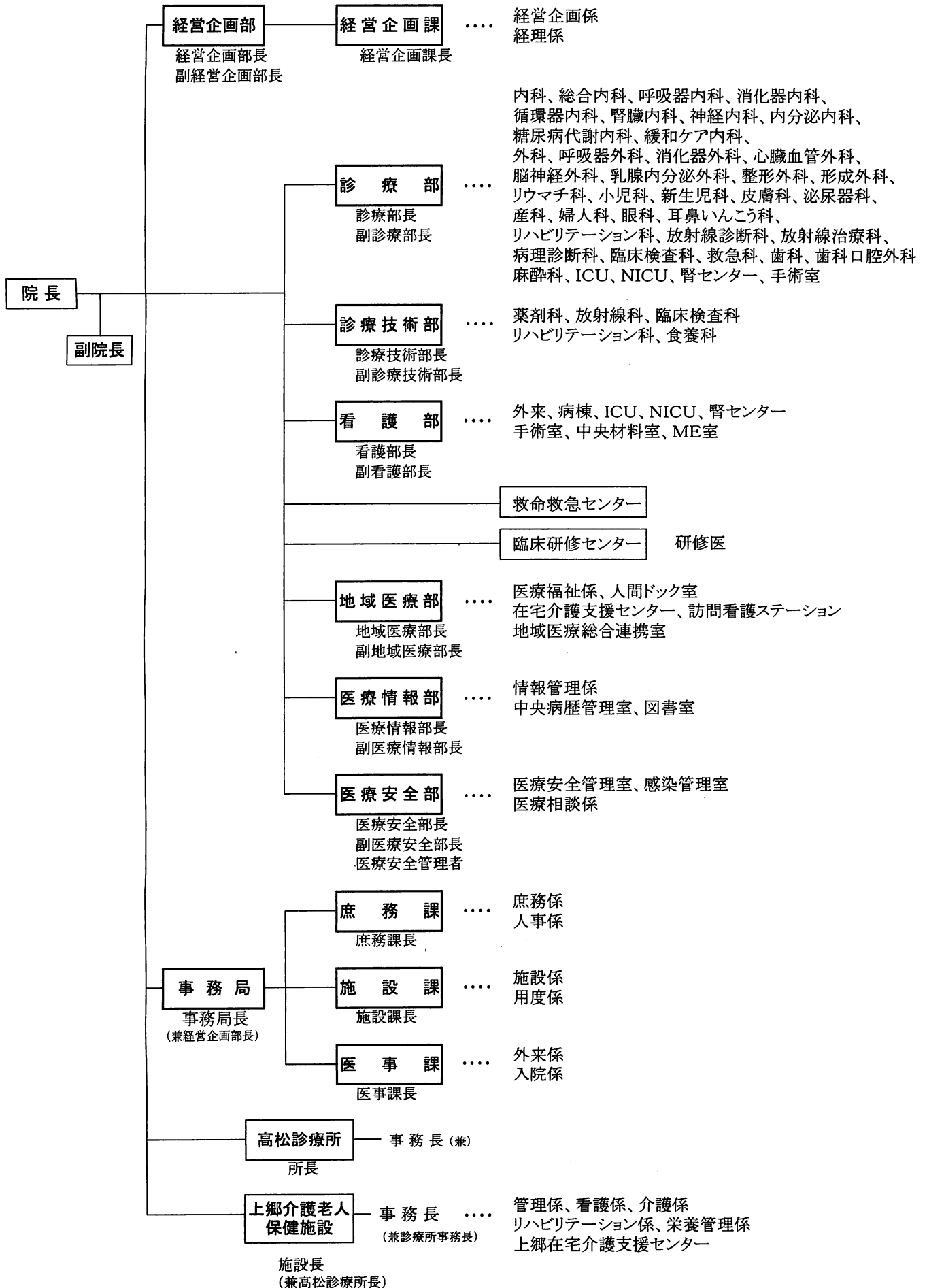
所 木造 1 戸建 敷地 516.84 m² 建物 139.9 m²

・施設基準の概要(H21.10.1 現在)

基本診療料	一般病棟入院基本料 7:1 医師事務作業補助体制加算 25:1 ハイリスク妊娠管理加算 地域歯科診療支援病院歯科初診料 臨床研修病院入院診療加算 診療録管理体制加算 栄養管理実施加算 褥瘡患者管理加算 退院調整加算 超急性期脳卒中加算	入院時医学管理加算 ハイリスク分娩管理加算 がん診療連携拠点病院加算 歯科外来診療環境体制加算 妊産婦緊急搬送入院加算 重症者等療養環境特別加算 医療安全対策加算 後期高齢者総合評価加算 後期高齢者退院調整加算 ハイリスク褥瘡患者管理加算
特定入院料	救命救急入院料 1. 2 新生児集中治療室管理料 亜急性期入院医療管理料 1	特定集中治療室管理料 小児入院医療管理料 2
特掲診療料	糖尿病合併症管理料 ニコチン依存症管理料 開放型病院共同指導料 地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料 ハイリスク妊産婦共同管理料(I) 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1. 2 歯科 血液細胞核酸増幅同定検査 検体検査管理加算 (I) (III) 神経学的検査 コンタクトレンズ検査料 (I) 小児食物アレルギー負荷検査 画像診断管理加算 2 ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 CT撮影及びMR I 撮影 無菌製剤処理料 外来化学療法加算 1 心大血管疾患リハビリテーション料(I) 脳血管疾患リハビリテーション料(I) 運動器リハビリテーション料(I) 呼吸器リハビリテーション料(I) エタノールの局所注入 甲状腺 エタノールの局所注入 副甲状腺 経皮的中隔心筋焼灼術 ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術 大動脈バルーンパンピング法 (I A B P 法) 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術 輸血管理料II 麻酔管理料 外来放射線治療加算 放射線治療専任加算 高エネルギー放射線治療 補綴物維持管理料	
入院時食事療養等	入院時食事療養 (1)	

飯田市立病院組織図

平成21年9月1日現在

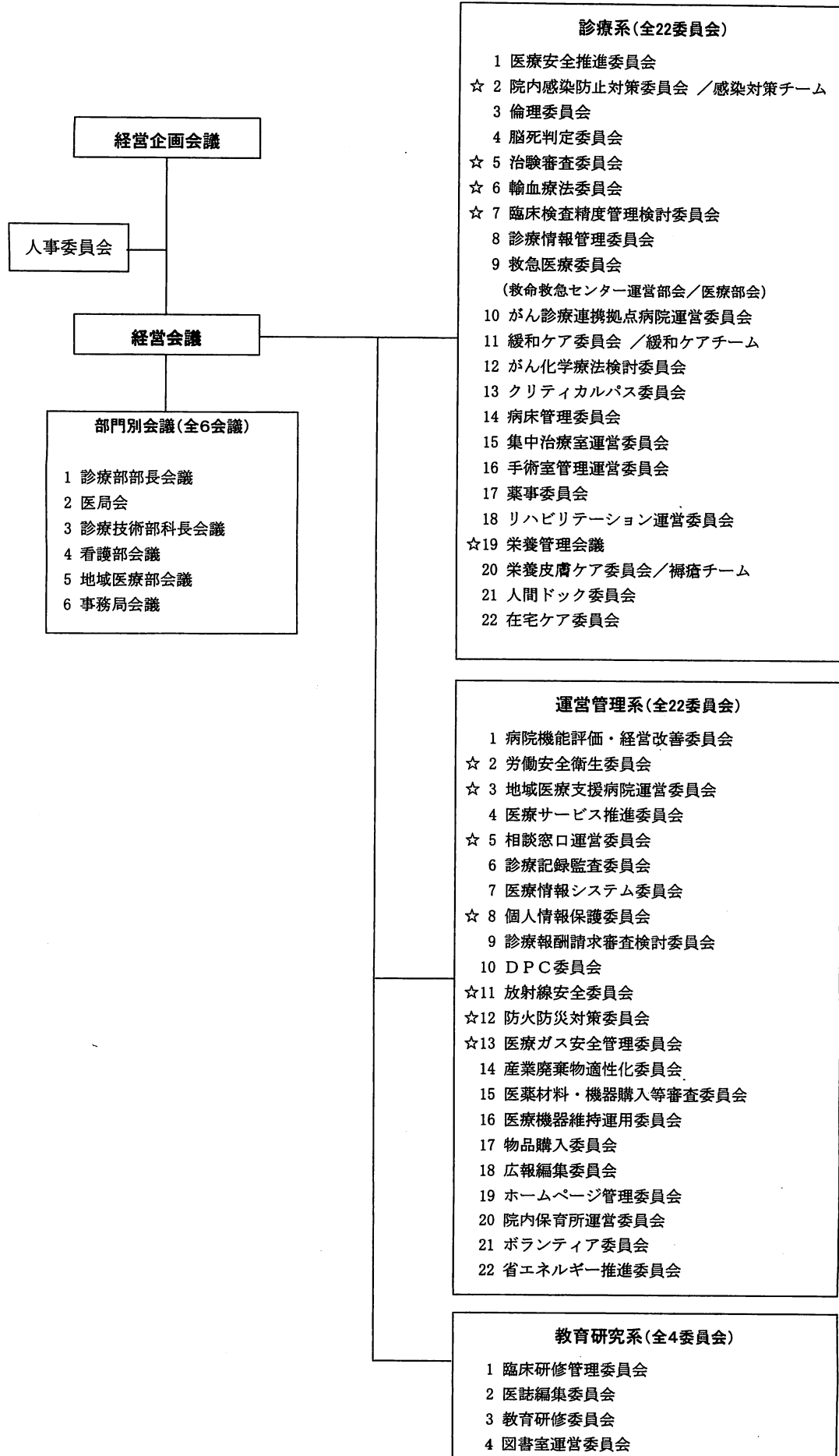


3. 沿革

昭和26年 3月	病院開設許可(病床数一般25床、結核9床)
26年12月	開院
40年 7月	増改築(本館)竣工(鉄筋コンクリート地下1階)
49年 3月	中央診療棟竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上2階)
52年 3月	増改築(新館)竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上4階、病床数一般304床、結核61床)
54年 9月	新病院建設マスタープラン作成依頼
56年 7月	同報告書完成
56年11月	病院整備研究委員会設置
59年 4月	結核病床廃止(病床数一般304床)
61年12月	病院建設研究室設置
63年12月	新病院建設基本設計、実施設計発注
平成元年11月	総合病院となる
2年 2月	新病院建設設計完了、敷地造成工事着手
2年 7月	新病院開設許可(病床数一般50床増床し、354床に変更) 建設工事着手
4年 7月	新病院本館工事終了
4年 9月	新病院竣工
4年10月	開院
7年 4月	伝染病隔離病舎工事終了
7年 7月	看護婦養成実習室竣工
9年 1月	災害拠点病院指定
9年 3月	エイズ治療拠点病院指定
10年 3月	6階東病棟増築竣工(病床数49床増床し、403床となる) 外来棟増築竣工
10年 9月	検査手術棟増築竣工
11年 6月	リハビリ棟増築竣工
12年 6月	高圧酸素治療室整備
8月	場外離着陸場(ヘリポート)竣工
9月	地域周産期母子医療センター指定
13年 3月	MRI室整備
10月	ヘリポート油庫設置
12月	蒸気ボイラー改修 在宅介護支援センター(別棟)新築
14年 3月	救急治療室増改築 結核患者収容個室整備
15年 9月	救急外来大屋根整備
12月	駐車場ゲート運用開始
16年 2月	入院電子カルテ運用開始
4月	外来電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
17年 1月	日本医療機能評価機構 認定病院更新
4月	臨床研修棟整備
18年 2月	助産師外来開始
7月	PET-CT整備
10月	新型救命救急センター指定
19年 1月	地域がん診療連携拠点病院指定
3月	高松分院閉院
4月	高松診療所開設
20年 4月	院内保育所開設
21年 4月	DPC対象病院

飯田市立病院各種委員会等組織図 (全57委員会・会議)

☆は、法令・施設基準等に規定のあるもの



5. 飯田市立病院の施設の特徴

- 飯伊医療圏の中核病院として、二次医療の全部と発生の多い疾患の第三次医療（高度医療）を提供するため、最新型の医療機器を導入し、高次医療病院として充実させました。
- 当医療圏内で最高の機能を備えた病院となり、他の医療機関との機能分担と相互連携によって住民の健康を守る中心的役割を果たしています。
- 段丘上の恵まれた自然環境の中に立地しています。明るく清潔な院内とし、患者さんが希望をもって治療に専念できるよう待合室、病室、デイルームなど施設全体に工夫がなされています。
- 広い敷地を活用して1階を広くとり、ほとんどの診療が1階で受けられるように外来診療室、放射線診断室、検査室等が配置され、患者さんにわかりやすく、職員も働きやすいようにレイアウトしています。
- 病院施設は安全性が肝心です。施設全体に安全施設や防災対策が施され、院内の感染防止対策も考慮されています。

放射線治療機器	手術関連機器
放射線治療システム	患者監視モニタリングシステム
リニアック	無影灯
ラルストロン	手術台
ストロンチウム89シリンジ分注装置	トランススーバー
放射線診断機器	電気メス
PET-CT	麻酔器
MRI	腹腔鏡手術機器
X線TV	鼻腔鏡手術機器
X線CT	開頭ドリル機器
アンギオ	人工心肺装置
RI	大動脈バルーンポンプ
骨密度測定装置	人工関節手術機器
腹部エコー	レーザー手術機器
CR	超音波手術機器
結石破碎装置	除細動器
マンモグラフィー	高圧蒸気滅菌装置
乳腺バイオプシー	プラズマ滅菌装置
一般X線撮影装置	ジェットウォッシャー
放射線画像ファイリングシステム（PACS）	超音波洗浄装置
放射線情報システム（RIS）	ICU関連機器
臨床検査用機器	患者監視モニタリングシステム
生化学自動分析システム	ICUベッド
血算装置	熱傷ベッド
血液凝固分析装置	人工呼吸器
血液培養装置	腎センター関連機器
輸血検査システム	RO水処理装置
検体搬送システム	ダイヤライザー
病理検査システム	内視鏡関連機器
臓器標本撮影装置	内視鏡ビデオシステム
電子顕微鏡	超音波内視鏡システム
肺機能測定装置	上部消化管汎用ビデオスコープ
運動負荷試験システム	下部内視鏡ビデオスコープ
脳波計	十二指腸内視鏡ビデオスコープ
心電図システム	小腸内視鏡ビデオスコープ
心臓エコー装置	病棟用ME関連機器
血液ガス電解質分析装置	輸液ポンプ
薬剤関連機器	シリンジポンプ
散剤調剤監査システム	下肢加圧装置
錠剤分包機	低圧持続吸引器
散剤分包機	パルスオキシメーター
リハビリ用機器	その他医療機器
ハバートタンク	外科穿刺エコー
牽引装置	産婦人科エコー
低周波治療器	分娩監視装置
干渉波治療器	分娩台
超音波骨折治療器	保育器
	新生児生体情報モニタ機器
	高気圧酸素治療装置
	リフト式特殊浴槽
	歯科治療ユニット

6. 職員に関する事項

(1)職種別職員の状況

H21.4.1現在

職 種	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
医 師	68(5)	76(10)	84(13)	88(17)	90(14)	93(15)
薬 剤 師	15	15	15	17	18	18
診 療 放 射 線 技 師	15	15	16	16	17	18
臨 床 検 査 技 師	27	24	25	25	26	25
理 学 療 法 士	11	11	10	11	12	15
作 業 療 法 士	4	4	4	5	5	6
視 能 訓 練 士	3	1	2	3	2	2
言 語 聴 覚 士	3	2	2	3	4	4
歯 科 衛 生 士	2	2	3	3	4	4
栄 養 士	4	5	5	5	7	7
調 理 員	25	26	26	25	26	28
看 護 師	258	257	258	275	297	322
准 看 護 師	35	26	27	29	28	31
助 産 師	12	11	16	16	17	19
保 健 師	2	2	2	1	1	1
臨 床 工 学 技 士	1	1	2	4	6	6
看 護 助 手	24	25	27	29	38	40
事 務	58	54	57	58	64	80
そ の 他	4	3	4	4	5	6
合 計	571	560	585	617	667	725

()は初期研修医内数

7. 平成20年度飯田市立病院事業報告

1 概 況

(1) 総 括 事 項

平成20年4月の診療報酬の改定は、マイナス0.82%となりました。平成18年度のマイナス3.14%という大幅な引き下げに比べると、本体部分がプラス0.38%と改善の方向もみられますが、引き続き非常に厳しい状況に変化がないものと考えられます。

そのような中で、当院の平成20年度の患者動向は、全国的な傾向に加え当院の一部の病棟を再編成したことなどにより、上半期は入院・外来ともに前年度と比較して患者数が減少し、医業収益も大幅に落ち込みました。そこで、公立病院改革プランを見据えた経営改善の必要性について職員の認識を高めるとともに、収益確保に向けての取組を強化してきたところ、入院患者の確保や単価向上などの取組により医業収益が回復し、最終的に前年度と同程度の収益が確保できました。

決算状況は、前年度に比較して病床利用率は低下しましたが、入院・外来の診療単価の上昇などにより、医業収益としては1.0%の増となりました。また、医業外収益は、一般会計負担金の増などにより14.2%の増となっています。一方、医業費用については、医師の負担軽減や看護配置基準7対1に向け看護師やメディカルクラーク等を採用したことによる人件費の増や、医療機器等の修繕が重なったことなどにより1.9%増の伸びとなりました。また、医業外費用は、企業債支払利息や開発費償却（電子カルテ）の大幅な減額により、9.7%の減となっています。その結果、経常損益は1億2千9百万円の損失となり、前年度と比較すると約1億1千8百万円の改善が図られました。地域医療を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、医療の充実と健全な病院経営の両立に向け前進することができました。

なお、院内保育所の開設により看護師の離職率が低下したこともあり、平成21年度から看護配置基準7対1の基準を満たすことができるため、良質な医療の提供と収益の向上が見込まれます。

公立病院改革については、平成19年12月に示された公立病院改革ガイドラインにより、「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」という3つの視点に立った飯田市立病院改革プランの策定に取り組みました。特に収支計画では、平成22年度の経常黒字を目標としており、飯田市立病院改革プランの策定を契機に総点検を行い、従来から取り組んできた経営改善を推し進めることにより経常収支の黒字化を目指します。

医師の確保については全国的に厳しい状況で、特に地方の総合病院の勤務医不足が著しく、当地域でもその傾向が顕著に現れています。当地域のみで解決できる問題ではありませんが、地域医療に支障が出ないように医療機関や関係機関と連携して取組を進めました。

産婦人科については、当地域の病院に勤務する産婦人科医師が退職したことにより、平成20年4月以降に当院が受け入れる里帰り出産について、分娩件数月70件を目安に一部制限してまいりました。その後、平成19年度に整備した助産師外来（診察室3室と検査室・検査機器等を整備、検査は専任の臨床検査技師が対応）が軌道に乗り、医師の負担軽減に結びついたことから、目安とする分娩件数を月90件に拡大することができました。

心臓血管外科については、専門医師が不在のため平成19年から手術を休止していましたが、平成21年2月に医師が着任し手術を再開することができました。手術が必要な患者さんを搬送するリスクや負担がなくなり、地元で手術が再開できる意味は大きいものと思われます。

感染防止対策については、世界中で危機感が高まっている新型インフルエンザ対策の必要性から取組の重要性が高まっています。当院では、感染管理認定看護師や感染防止対策委員会が中心となり、対応マニュアルの作成や防護服の準備を進めてきましたが、さらに、平成21年4月からは医療安全部に感染管理室を設置し、専門的に対策を進めてまいります。

研修医の確保では、研修プログラムの充実などに取り組んでまいりました。平成20年度は、前年度より1名少ない16名を受け入れています。また、初期臨床研修終了後、さらに専門領域を深めるための後期臨床研修として医師5名が当院に勤務しました。今後も、研修医を積極的に受け入れ地域医療を担う医師の育成に取り組んでまいります。

平成19年1月に、県内6施設の「がん診療連携拠点病院」の一つに指定され、がん患者に質の高い医療を提供していくための取組を進めています。がん診療の専門医等の育成や関係スタッフの研修教育、関係医療機関との連携やデータ分析に取り組むとともに、院内の緩和ケアチームが活動しました。

救命救急センターやがん診療連携拠点病院としての機能の充実、入院・外来患者が院内で過ごす時間の快適性向上などのため、増改築の準備を進めました。

医療安全対策や患者サービスの向上、接遇の改善などについて、各委員会を中心に積極的に取り組みました。ご意見カードで寄せられた要望・意見や患者満足度調査などの客観的な指標により検証しながら、よりよいサービスの向上を推進しています。また、「患者さんの個人情報」についても、適切に保護し管理することを進めています。

上郷介護老人保健施設については、平成22年3月の完成に向け建設に着手しています。

ア 施設 の 状 況

(ア) 本年度取得した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び附属設備は	MRI室シールド付設等改修工事 他	69,961,000 円
b 構 築 物 は	院内託児所柵設置及び錠取付工事	170,000 円
c 医療器械器具及び備品は	磁気共鳴画像診断装置(MRI) 他	410,416,800 円
d 一般器具及び備品は	医療情報ネットワーク基幹LAN機器 他	28,129,100 円
e 車両及び運搬具は	小型乗用車 他	2,428,075 円

(イ) 本年度除却した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 医療器械器具及び備品は	超電導MRI装置及び関連機器 他	481,966,820 円
b 一般器具及び備品は	パソコン 他	15,066,667 円

イ 患者の状況

入院患者数は、延べ 116,541 人(前年度対比 94.6%)、一日平均 319.3 人、病床利用率 79.2%(決算統計上 84.4%)、前年度に比較して、延べで 6,647 人、一日平均 17.3 人、利用率では 4.3 ポイント減少しました。また、平均在院日数は 13.1 日でした。

高松診療所を含む外来患者数は、延べ 223,866 人(前年度対比 90.5%)、一日平均 917.5 人で、前年度に比較して、延べで 23,461 人、一日平均 92.0 人の減少となりました。

なお、感染症入院患者数は、昨年に引き続き 0 人でした。

ウ 経理の状況

(ア) 収益的収入(損益計算書)

入院収益は 5,869,686,476 円、外来収益が 2,176,952,187 円で、前年度に比較し、入院では 64,254,754 円(1.1%)の増加、外来では 35,428,975 円(1.6%)の減少となりました。患者 1 人 1 日当たりの診療収入(高松診療所を含む)は、入院 50,366 円、外来 9,724 円となり、前年度に比較し入院では 3,235 円(6.9%)、外来では 779 円(8.7%)増加しました。

病院事業収益全体では前年度に比較し、198,477,568 円(2.1%)増加の 9,635,385,293 円となりました。

(イ) 収益的支出(損益計算書)

病院事業費用は前年度に比較し給与費は 183,231,736 円(3.9%)増加、材料費は 127,208,519 円(6.0%)減少、経費は 110,281,758 円(9.7%)増加、企業債利息は 28,474,506 円(6.5%)減少、減価償却費は 15,393,000 円(2.0%)減少、繰延勘定償却は 73,900,003 円(24.8%)減少しました。

病院事業費用全体では前年度に比較し、79,950,969 円(0.8%)増加の 9,765,012,768 円となりました。

この結果、経常損益で 129,627,475 円の損失となりました。

(ウ) 資本的収入

企業債は、1,642,400,000 円(うち借換債 1,065,800,000 円)、企業債償還元金及び建設改良費等を繰入項目とする他会計負担金は 396,909,000 円、国県補助金は 13,702,000 円、介護老人保健施設建設に係る出資金は 249,030,000 円、寄附金は 2,300,000 円で、資本的収入総額は 2,304,341,000 円でした。

(エ) 資本的支出

医療機器等整備や介護老人保健施設建設等の建設改良費は 854,358,955 円、企業債償還金は繰上償還の 1,065,884,519 円を含め 2,090,357,490 円、退職給与金は 156,554,636 円、開発費は 31,579,100 円で、資本的支出総額は 3,132,850,181 円でした。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 828,509,181 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,829,671 円及び過年度分損益勘定留保資金 826,679,510 円で補てんしました。

(2) 患者の年度別状況

区 分	年度	病 床 数	診療日数	患者延数	一日平均患者数
入 院	16	403	365	118,467	324.6
	17	403	365	120,719	330.7
	18	403	365	126,785	347.4
	19	403	366	123,188	336.6
	20	403	365	116,541	319.3
外 来	16		243	254,831	1048.7
	17		244	245,793	1007.3
	18		245	249,431	1018.1
	19		245	240,436	981.4
				6,891 (高松)	28.1 (高松)
	20		244	216,859	888.8
			238	7,007 (高松)	29.4 (高松)

(3) 平成 20 年度企業債及び一時借入金の状況

ア 企業債の概況

区 分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高	備 考
企業債	円 10,455,166,423	円 1,642,400,000 (うち借換債) 1,065,800,000	円 2,090,357,490 (うち繰上償還) 1,065,884,519	円 10,007,208,933	財 政 融 資 資 金 八 十 二 銀 行 長 野 県 信 連 飯 田 信 用 金 庫 みなみ信州農業協同組合 簡 易 生 命 保 険 地方公営企業等金融機構 長 野 銀 行 長 野 県 労 働 金 庫

イ 一時借入金の概況

該当なし

(4) その他会計経理に関する重要事項

ア 補償金免除繰上償還にかかる事項

平成 20 年度公的資金補償金免除繰上償還等実施要綱（平成 20 年 4 月 1 日付け総務省自治財政局長通知）に基づき、平成 21 年 2 月 24 日付けで承認のあった利率 6 パーセント以上 7 パーセント未満の財政融資資金について、補償金免除を受けて 1,065,884,519 円を繰上償還した。

(4)平成20年度飯田市病院事業決算報告書

収益の収入及び支出

〔収入〕

区 分	予 算 額		
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 病院事業収益	円 9,815,000,000	円 78,147,000	円 0
第1項 医 業 収 益	8,974,000,000	28,617,000	0
第2項 医 業 外 収 益	841,000,000	49,530,000	0

〔支出〕

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流 用 増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計
第1款 病院事業費用	円 10,015,000,000	円 98,538,000	円 0	円 0	円 0	円 10,113,538,000
第1項 医 業 費 用	9,340,700,000	92,700,000	0	0	0	9,433,400,000
第2項 医業外費用	674,300,000	5,838,000	0	0	0	680,138,000

資本的収入及び支出

〔収入〕

区 分	予 算 額			
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
第1款 資本的収入	円 2,443,186,000	円 197,571,000	円 2,640,757,000	円 176,775,000
第1項 企 業 債	1,748,100,000	152,000,000	1,900,100,000	0
第2項 負 担 金	422,961,000	32,105,000	455,066,000	0
第3項 国 庫 補 助 金	5,625,000	△ 474,000	5,151,000	0
第4項 県 補 助 金	0	8,085,000	8,085,000	0
第5項 出 資 金	266,500,000	3,555,000	270,055,000	176,775,000
第6項 寄 附 金	0	2,300,000	2,300,000	0

〔支出〕

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費 遞 次 繰越額
第1款 資本的支出	円 3,187,358,000	円 220,565,000	円 0	円 3,407,923,000	円 176,775,000	円 0
第1項 建 設 改 良 費	951,000,000	163,565,000	0	1,114,565,000	176,775,000	0
第2項 企業債償還金	2,090,358,000		0	2,090,358,000	0	0
第3項 退 職 給 与 金	100,000,000	57,000,000	0	157,000,000	0	0
第4項 開 発 費	46,000,000		0	46,000,000	0	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 828,509,181円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支

合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 9,893,147,000	円 9,653,634,020	円 △ 239,512,980	
9,002,617,000	8,729,805,682	△ 272,811,318	(うち仮受消費税 16,962,879 円)
890,530,000	923,828,338	33,298,338	(うち仮受消費税 1,285,870 円)

地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰越額	不 用 額	備 考
円 0	円 10,113,538,000	円 9,733,751,609	円 0	円 379,786,391	
0	9,433,400,000	9,062,763,155	0	370,636,845	(うち仮払消費税 114,200,115 円)
0	680,138,000	670,988,454	0	9,149,546	(うち仮払消費税 1,009,369 円)

継続費通次繰越額 に係る財源充当額	合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 0	円 2,817,532,000	円 2,304,341,000	円 △ 513,191,000	
0	1,900,100,000	1,642,400,000	△ 257,700,000	(うち借換債 1,065,800,000 円)
0	455,066,000	396,909,000	△ 58,157,000	
0	5,151,000	5,625,000	474,000	
0	8,085,000	8,077,000	△ 8,000	
0	446,830,000	249,030,000	△ 197,800,000	
0	2,300,000	2,300,000	0	

合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
		地方公営企業法 第26条の規定による 繰越額	継続費 通 次 繰越額	合 計		
円 3,584,698,000	円 3,132,850,181	円 0	円 365,600,000	円 365,600,000	円 86,247,819	
1,291,340,000	854,358,955		365,600,000	365,600,000	71,381,045	(うち仮払消費税 40,636,634 円)
2,090,358,000	2,090,357,490	0	0	0	510	(うち繰上償還 1,065,884,519 円)
157,000,000	156,554,636	0	0	0	445,364	
46,000,000	31,579,100	0	0	0	14,420,900	(うち仮払消費税 1,503,767 円)

調整額 1,829,671円及び過年度分損益勘定留保資金 826,679,510円で補てんした。

(5) 飯田市病院事業損益計算書

(単位:円)

	18年度	19年度	20年度
1 医 業 収 益	8,347,120,075	8,629,045,501	8,712,842,803
(1) 入 院 収 益	5,679,442,528	5,805,431,722	5,869,686,476
(2) 外 来 収 益	2,135,842,896	2,212,381,162	2,176,952,187
(3) そ の 他 の 医 業 収 益	531,834,651	611,232,617	666,204,140
2 医 業 費 用	8,470,724,119	8,781,233,089	8,948,563,040
(1) 給 与 費	4,512,040,262	4,680,616,339	4,863,848,075
(2) 材 料 費	2,039,110,950	2,138,996,108	2,011,787,589
(3) 経 費	1,069,638,545	1,136,581,115	1,246,862,873
(4) 減 価 償 却 費	786,842,267	777,516,546	762,123,546
(5) 資 産 減 耗 費	32,942,929	12,667,528	26,879,607
(6) 研 究 研 修 費	30,149,166	34,855,453	37,061,350
医 業 損 失	123,604,044	152,187,588	235,720,237
3 医 業 外 収 益	765,751,837	807,862,224	922,542,490
(1) 受 取 利 息 配 当 金	2,721,678	9,279,445	9,978,388
(2) 他 会 計 負 担 金	595,466,000	599,568,000	691,901,000
(3) 財 産 収 入	7,009,474	6,254,724	5,096,847
(4) 他 会 計 補 助 金	95,100,000	111,600,000	129,187,000
(5) 国 庫 補 助 金	20,227,000	29,381,000	26,269,000
(6) 県 補 助 金	4,425,000	10,473,000	23,371,000
(7) そ の 他 医 業 外 収 益	40,802,685	41,306,055	36,739,255
4 医 業 外 費 用	967,302,514	903,828,710	816,449,728
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	418,873,440	439,739,503	411,264,997
(2) 繰 延 勘 定 償 却	392,449,562	298,177,989	224,277,986
(3) 患 者 外 給 食 材 料 費	946,119	920,151	1,285,128
(4) 院 内 保 育 所 費			19,008,245
(5) 雑 損 失	155,033,393	164,991,067	160,613,372
3 - 4	△ 201,550,677	△ 95,966,486	106,092,762
経 常 損 失	325,154,721	248,154,074	129,627,475
5 特 別 利 益	0	0	0
(1) 固 定 資 産 売 却 益	0	0	0
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益	0	0	0
(3) そ の 他 特 別 利 益	0	0	0
6 特 別 損 失	0	1,072,794,378	0
(1) 固 定 資 産 売 却 損	0	0	
(2) 過 年 度 損 益 修 正 損	0	0	
(3) 高松分院固定資産等除却損	0	1,072,794,378	
5 - 6	0	△ 1,072,794,378	0
当 年 度 純 損 失	325,154,721	1,320,948,452	129,627,475
前 年 度 繰 越 欠 損 金	1,495,660,324	1,997,543,432	2,068,969,119
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	1,820,815,045	3,318,491,884	2,198,596,594

* 平成19年度の前年度繰越欠損金には高松分院の繰越欠損金176,728,387円を合算してある。

(6) 飯田市病院事業剰余金計算書

(単位:円)

	18年度	19年度	20年度
[利益剰余金の部]			
1 減債積立金			
1 前年度末残高	0	0	0
2 前年度繰入額	0	0	0
3 当年度処分額	0	0	0
4 当年度残高	0	0	0
積立金合計	0	0	0
2 欠損金			
1 前年度未処理欠損金 前年度未処分利益剰余	1,495,660,324	1,997,543,432	3,318,491,884
2 前年度欠損金処理額 前年度利益剰余金処分	0	0	1,249,522,765
繰越欠損金年度末残高 繰越利益剰余金年度末残	1,495,660,324	1,997,543,432	2,068,969,119
3 当年度純損失	325,154,721	1,320,948,452	129,627,475
当年度未処理欠損金	1,820,815,045	3,318,491,884	2,198,596,594
[資本剰余金の部]			
1 受贈財産評価額			
1 前年度末残高	32,123,300	33,536,550	33,536,550
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	0	0
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	32,123,300	33,536,550	33,536,550
2 寄附金			
1 前年度末残高	16,483,438	23,857,718	24,057,718
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	200,000	2,300,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	16,483,438	24,057,718	26,357,718
3 補助金			
1 前年度末残高	806,223,000	925,929,300	937,047,300
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	13,000,000	11,118,000	13,702,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	819,223,000	937,047,300	950,749,300
4 その他資本剰余金			
1 前年度末残高	4,518,910,318	5,202,728,728	5,664,078,728
2 前年度処分額	0	0	1,249,522,765
3 当年度発生額	308,923,000	461,350,000	396,909,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	4,827,833,318	5,664,078,728	4,811,464,963
翌年繰越資本剰余金	5,695,663,056	6,658,720,296	5,822,108,531

* 平成19年度の前年度未処理欠損金は高松分院の未処理欠損金176,728,387円を合算してある。

(7) 飯田市病院事業貸借対照表

(単位:円)

	18年度	19年度	20年度
〔資産の部〕	17,509,344,382	16,952,924,322	17,018,698,743
1 固定資産	13,094,425,057	12,928,244,556	12,954,991,655
(1) 有形固定資産	13,092,668,973	12,925,736,019	12,952,483,118
イ 土地	4,284,956,840	4,399,020,501	4,399,020,501
ロ 建物及び附属設備	6,983,537,603	6,760,472,609	6,424,836,219
ハ 構築物	116,778,082	113,808,474	96,305,671
ニ 医療機械器具及び備品	1,649,078,509	1,604,358,425	1,666,438,769
ホ 一般器具及び備品	54,368,889	44,935,486	58,570,769
ヘ 車輛及び運搬具	3,949,050	3,140,524	4,693,843
ト 建設仮勘定	0	0	302,617,346
(2) 無形固定資産	1,756,084	2,508,537	2,508,537
イ 電話加入権	1,756,084	1,934,444	1,934,444
ロ 地上権	0	574,093	574,093
(3) 投資	0	0	0
イ 長期貸付金	0	0	0
ロ その他投資	0	0	0
2 流動資産	3,564,301,617	3,258,308,380	3,294,672,989
(1) 現金預金	2,184,297,925	2,042,205,630	1,874,112,690
(2) 未収金	1,335,903,083	1,184,923,808	1,386,413,273
(3) 貯蔵品	44,100,609	31,178,942	34,147,026
(4) 貸付金	0	0	0
(5) その他流動資産	0	0	0
3 繰延勘定	850,617,708	766,371,386	769,034,099
(1) 開発費	129,285,516	70,272,820	83,386,333
(2) 退職給与金	512,207,405	509,174,546	495,840,259
(3) 控除対象外消費税	209,124,787	186,924,020	189,807,507

	18年度	19年度	20年度
[負 債 の 部]	922,349,944	718,356,004	699,774,390
4 固 定 負 債	0	0	0
(1) 引 当 金	0	0	0
イ 修 繕 費 引 当 金	0	0	0
ロ 退 職 給 与 引 当 金	0	0	0
5 流 動 負 債	922,349,944	718,356,004	699,774,390
(1) 未 払 金	910,810,178	704,730,080	683,263,252
(2) 一 時 借 入 金	0	0	0
(3) そ の 他 流 動 負 債	11,539,766	13,625,924	16,511,138
[資 本 の 部]	16,586,994,438	16,234,568,318	16,318,924,353
6 資 本 金	12,712,146,427	12,894,339,906	12,695,412,416
(1) 自 己 資 本 金	575,903,782	835,953,483	1,084,983,483
(2) 借 入 資 本 金	12,136,242,645	12,058,386,423	11,610,428,933
イ 他 会 計 借 入 金	1,603,220,000	1,603,220,000	1,603,220,000
ロ 企 業 債	10,533,022,645	10,455,166,423	10,007,208,933
ハ 特定資金公共投資事業債	0	0	0
7 剰 余 金	3,874,848,011	3,340,228,412	3,623,511,937
(1) 資 本 剰 余 金	5,695,663,056	6,658,720,296	5,822,108,531
イ 受 贈 財 産 評 価 額	32,123,300	33,536,550	33,536,550
ロ 寄 附 金	16,483,438	24,057,718	26,357,718
ハ 補 助 金	819,223,000	937,047,300	950,749,300
ニ そ の 他 資 本 剰 余 金	4,827,833,318	5,664,078,728	4,811,464,963
(2) 欠 損 金	1,820,815,045	3,318,491,884	2,198,596,594
イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	1,820,815,045	3,318,491,884	2,198,596,594
負 債 ・ 資 本 合 計	17,509,344,382	16,952,924,322	17,018,698,743

(8) 経営分析に関する調

()は前年度数値

団 体 名		飯 田 市		病 院 名	飯 田 市 立 病 院		
項 目				算 出 基 礎		数値・単位	増減率
1病床利用率		(1)一 般		年延一般入院患者数 (125,408) ×100		(89.7)	-4.9
				年延一般病床数 (147,095)		85.3 %	
		(2)結 核		年延結核入院患者数 () ×100		()	
				年延結核病床数 ()		%	
		(3)伝 染		年延伝染入院患者数 (0) ×100		(0.0)	
				年延伝染病床数 (1,460)		0.0 %	
		(4) 計		年延入院患者数 (125,408) ×100		(88.9)	-5.1
				年延総病床数 (148,555)		84.4 %	
2患者数	(1)一日平均患者数	ア 入 院		年延入院患者数 (125,408)		(361.7)	-5.0
				365 (365)		343.6 人	
		イ 外 来		年延外来患者数 (223,866)		(1,009.5)	-9.1
				診療日数 (244)		917.5 人	
	(2)外来入院患者比率		年延外来患者数 (223,866) ×100		(186.8)	-4.4	
			年延入院患者数 (125,408)		178.5 %		
	(3)職員一人一日当り患者数	ア 医 師	入 院	年延入院患者数 A (125,408)		(4.2)	-4.8
				年延医者数 D (31,174)		4.0 人	
			外 来	年延外来患者数 B (223,866)		(7.8)	-7.7
				D (31,174)		7.2 人	
		イ看護部門職員	入 院	A (125,408)		(1.1)	-9.1
				年延看護部門職員数E (125,500)		1.0 人	
			外 来	B (223,866)		(2.1)	-14.3
				E (125,500)		1.8 人	
3収入	(1)患者一人一日当り診療収入	ア 入 院		入院収益 (5,869,687)		(43,858)	6.7
				A (125,408)		46,805 円	
		うち投薬注射収入		投薬注射収入 (644,425)		(4,950)	3.8
				A (125,408)		5,139 円	
		うち検査収入		検査収入 (238,069)		(1,871)	1.4
				A (125,408)		1,898 円	
		うちX線収入		X線収入 (179,590)		(1,319)	8.6
				A (125,408)		1,432 円	
		イ 外 来		外来収益 (2,176,952)		(8,945)	8.7
				B (223,866)		9,724 円	
		うち投薬注射収入		投薬注射収入 (369,072)		(1,671)	-1.3
				B (223,866)		1,649 円	
	うち検査収入		検査収入 (513,695)		(2,147)	6.9	
			B (223,866)		2,295 円		
うちX線収入		X線収入 (467,376)		(1,880)	11.1		
		B (223,866)		2,088 円			
(2)職員一人一日当り診療収入	ア 医 師		入院外来収益 C (8,046,639)		(254,235)	1.5	
			D (31,174)		258,120 円		
	イ 看護部門職員		C (8,046,639)		(68,191)	-6.0	
			E (125,500)		64,117 円		

項 目			算 出 基 礎	数値・単位	増減率
	(3)職員一人当り医業収入		医業収入 (8,712,843) 損益勘定所属職員数 (505)	(17,755,237) 17,253,154 円	-2.8
費 用	4 (1)患者一人 一日当り 薬品費	ア 投 薬	投薬薬品費 (155,029) A + B (349,274)	(423) 444 円	5.0
			注射薬品費 (738,151) A + B (349,274)	(2,063) 2,113 円	2.4
		イ 注 射	薬 品 費 (893,180) A + B (349,274)	(2,486) 2,557 円	2.9
			給食材料費 (71,573) A (125,408)	(526) 571 円	8.6
		ウ 計			
	(2)入院患者一人一日当り給食材料費				
	(3)使用効率	ア 投薬薬品分	薬品収入(投薬分) (230,175) ×100 投薬薬品費 (155,029)	(146.8) 148.5 %	1.2
			薬品収入(注射分) (783,322) ×100 注射薬品費 (738,151)	(106.3) 106.1 %	-0.2
		イ 注射薬品分	医療材料費 (1,940,214) ×100 入院外来収益 (8,046,639)	(25.8) 24.1 %	-6.6
5診療収入に 対する割合	(1)投薬注射収入	C	投薬注射収入 (1,013,497) ×100 C (8,046,639)	(13.3) 12.6 %	-5.3
	(2)検査収入	C	検査収入 (751,764) ×100 C (8,046,639)	(9.7) 9.3 %	-4.1
6 医 業 収 対 益 す に る 割 合	(1)医療材料費	ア 薬品費	薬品費 (893,180) ×100 医業収益 F (8,712,843)	(10.9) 10.3 %	-5.5
			その他医療材料費 (1,047,034) ×100 F (8,712,843)	(13.0) 12.0 %	-7.7
		イ その他医療材料費	医療材料費 (1,940,214) ×100 F (8,712,843)	(24.0) 22.3 %	-7.1
	(2)職員給与費	F	職員給与費 (4,627,551) ×100 F (8,712,843)	(52.3) 53.1 %	1.5
	(1)患者100人当り検査件数	G	年間検査件数 (762,535) ×100 年延総患者数 G (349,274)	(193.6) 218.3 件	12.8
		G	年間X線件数 (78,414) ×100 G (349,274)	(20.5) 22.5 件	9.8
	(3)検査技師1人当り検査件数	H	年間検査件数 (762,535) 年度末検査技師数H (22.8)	(33,714.3) 33,444.5 件	-0.8
7 検 査 の 状 況	(4)検査技師1人当り検査収入	H	検査収入 (751,764) H (22.8)	(35,713) 32,972 千円	-7.7
	(5)放射線技師一人当り検査件数	I	年間X線件数 (78,414) 年度末放射線技師数I (17.0)	(4,588.7) 4,612.6 件	0.5
	(6)放射線技師一人当りX線収入	I	X線収入 (646,966) I (17.0)	(37,621) 38,057 千円	1.2
8 室 料	(1)入院収益に対する室料差額収入割合		室料差額収入 (38,233) ×100 入院収益 (5,869,687)	(0.6) 0.7 %	16.7
	(2)経常収益に対する室料差額収入割合		室料差額収入 (38,233) ×100 経常収益 (9,635,385)	(0.4) 0.4 %	0.0

項 目		算 出 基 礎	数値・単位	増減率
差 額	(3) 室料差額対象病床対総病床数の割合	室料差額対象病床数 (50) ×100	(12.3)	0.0
		総病床数 (407)	12.3 %	
9病床100床 当り職員数	(1) 医 師	年度末医師数 (84.8) ×100	(21.0)	-1.0
		年度末病床数 J (407)	20.8 人	
	(2) 看護部門職員	年度末看護職員数 (341.3) ×100	(79.8)	5.1
		J (407)	83.9 人	
	(3) 薬剤部門職員	年度末薬剤職員数 (18.0) ×100	(4.2)	4.8
		J (407)	4.4 人	
	(4) 事務部門職員	年度末事務職員数 (71.6) ×100	(13.1)	34.4
		J (407)	17.6 人	
	(5) 給食部門職員	年度末給食職員数 (34.2) ×100	(8.2)	2.4
		J (407)	8.4 人	
	(6) 医療技術員	年度末医療技術員数 (39.8) ×100	(9.5)	3.2
		J (407)	9.8 人	
	(7) その他職員	年度末その他職員数 (35.6) ×100	(8.0)	8.7
		J (407)	8.7 人	
	(8) 全職員	年度末全職員数 (625.3) ×100	(143.7)	6.9
		J (407)	153.6 人	

(9) 財務分析に関する調

()は前年度数値

項 目	算 出 基 礎	比 率	増減率
1固定資産構成比率	固定資産 (12,954,992) $\times 100$ 固定資産 (12,954,992) + 流動資産 (3,294,673) + 繰延勘定 (769,034)	(76.3) 76.1	-0.3
2固定負債構成比率	固定負債 (0) + 借入資本金 (11,610,429) $\times 100$ 負債資本合計 (17,018,699)	(71.1) 68.2	-4.1
3自己資本構成比率	自己資本金 (1,084,983) + 剰余金 (3,623,512) $\times 100$ 負債資本合計 (17,018,699)	(24.6) 27.7	12.6
4固定資産対長期資本比率	固定資産 (12,954,992) $\times 100$ 資本金 (12,695,412) + 剰余金 (3,623,512) + 固定負債 (0)	(79.6) 79.4	-0.3
5固定比率	固定資産 (12,954,992) $\times 100$ 自己資本金 (1,084,983) + 剰余金 (3,623,512)	(309.6) 275.1	-11.1
6流動比率	流動資産 (3,294,673) $\times 100$ 流動負債 (699,775)	(453.6) 470.8	3.8
7酸性試験比率	現金預金 (1,874,113) + 未収金 (1,386,413) $\times 100$ 流動負債 (699,775)	(449.2) 465.9	3.7
8現金比率	現金預金 (1,874,113) $\times 100$ 流動負債 (699,775)	(284.3) 267.8	-5.8
9減価償却率	当年度減価償却費 (762,124) 固定資産 (12,954,992) - 土地・建設仮勘定 (4,399,021) + 当年度減価償却費 762,124)	(9.1) 8.9	-2.2
10未収金回転率	営業収益 (8,712,843) - 受託工事収益 () {期首未収金 (1,402,497) + 期末未収金 (1,386,413)} $\times 0.5$	(6.7) 6.2	-7.5
11固定資産回転率	営業収益 (8,712,843) {期首固定資産 (14,246,533) + 期末固定資産 (12,954,992)} $\times 0.5$	(0.6) 0.6	0.0
12総収支比率	総収益 (9,635,385) $\times 100$ 総費用 (9,765,012)	(97.4) 98.7	1.3
13経常収支比率	経常収益 (9,635,385) $\times 100$ 経常費用 (9,765,012)	(97.4) 98.7	1.3
14営業収支比率	営業収益 (8,712,843) - 受託工事収益 () $\times 100$ 営業費用 (8,948,563) - 受託工事費用 ()	(98.3) 97.4	-0.9
15利子負担率	支払利息 (411,265) + 企業債取扱諸費 () $\times 100$ 企業債 (10,007,209) + 他会計借入金 (1,603,220) + 一時借入金 (0)	(3.6) 3.5	-2.8
16対減価償却額比率	建設改良のための企業債償還元金 (1,024,558) $\times 100$ 当年度減価償却費 (762,124)	(153.8) 134.4	-12.6
17 料 金 収 入 に 対 し て の 割 合	建設改良のための企業債元利償還金 (1,435,823) $\times 100$ 料金収入 (8,046,639)	(20.4) 17.8	-12.7
	企業債利息 (411,265) $\times 100$ 料金収入 (8,046,639)	(5.5) 5.1	-7.3
	建設改良のための企業債償還元金 (1,024,558) $\times 100$ 料金収入 (8,046,639)	(14.9) 12.7	-14.8
	職員給与費 (4,509,589) $\times 100$ 料金収入 (8,046,639)	(56.2) 56.0	-0.4
18職員1人当り営業収益	営業収益 (8,712,843) 損益勘定所屬職員数 (505)	(17,755) 17,253	-2.8
19有形固定資産	期末有形固定資産 (12,952,484) 損益勘定所屬職員数 (505) + 資本勘定所屬職員数 (0)	(26,596) 25,648	-3.6
20経常損失比率	経常損失 (129,627) $\times 100$ 営業収益 (8,712,843) - 受託工事収益 ()	(0.0) 0.0	0.0
21累積欠損金比率	累積欠損金 (2,198,597) $\times 100$ 営業収益 (8,712,843) - 受託工事収益 ()	(-38.5) 25.2	0.0
22不良債務比率	流動負債 (699,775) - {流動資産 (3,294,673) - 翌年度繰越財源} $\times 100$ 営業収益 () - 受託工事収益 ()	(0.0) 0.0	0.0

※ 指標の解説

1固定資産構成比率	総資産に対する固定資産の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
2固定負債構成比率	総資産に対する固定負債の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
3自己資本構成比率	総資本に対する自己資本の比率で、高い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
4固定資産対 長期資本比率	固定資産が、どの程度、長期資本によって調達されているかを示す比率で、常に100%以下で、かつ、低い値が良いとされる。
5固定比率	自己資本に対する固定資産の比率。固定資産は、1年以上にわたり使用される資産であることから、この調達源泉は、返済期限のない自己資本で賄うのが、安全な財務措置といえる。低い値が良いとされる。
6流動比率	流動負債に対する流動資産の比率。短期的な負債に対する支払いのための資金がどれくらいあるかを見る比率で、高い値ほど運転資金があると判断できる。
7酸性試験比率	流動負債に対する当座資産の比率。流動性を判断する指標で、100%以上であることが望ましい。
8現金比率	流動負債に対する現金、預金の比率。短期的な支払能力を表す。酸性試験比率と似ているが、その中で最も確実な支払手段のみを考慮している。100%以上が望ましい。
9減価償却率	減価償却である固定資産のうち、当年度に減価償却される割合を示す。固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標で、数値が大きいほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されることを示す。
10未収金回転率	未収金が収益によって何回転しているかを示す。未収金の回転状況を判断する指標で、数値が大きいほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。
11固定資産回転率	固定資産が収益によって何回転しているかを示す。数値が大きいほど施設などの固定資産が有効に稼働していることを示す。
12総収支比率	総費用に対する総収益の比率。損益計算上、総体の収益で総体の費用をまかなうことができるかどうかを示す。100%以上が良いとされる。
13経常収支比率	経常費用に対する経常収益の比率を示す。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を示すことになる。
14営業収支比率	営業費用に対する営業収益の割合を示す。数値が100%未満の場合には健全経営とはいえない。
15利子負担率	数値が小さいほど低利の借入金を利用していることになる。
16企業債償還元金 対減価償却額比率	減価償却に対する企業債償還元金の割合を示す。内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金が賄われているかどうかをみるものであり、数値が小さいほど資金的に余裕があるということになる。
17料金に対する割合	
企業債元利償還金	料金収入に対する企業債元利償還金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債利息	料金収益に対する企業債利息の割合を示す。企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債償還元金	料金収入に対する企業債償還元金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
職員給与費	料金収益に対する職員給与費の割合を示す。職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
18職員1人当り 営業収益	労働生産性を示す。主たる営業活動として行う財貨・サービスの提供の対価としての収入が、職員一人当たりどれだけの収益を得ているかを示すもので、数値が大きいほどよい。
19職員1人当り 有形固定資産	労働生産性を示す。固定資産のうち土地、償却資産、建設仮勘定などの有形固定資産が、職員一人当たりどの程度あるかを示すもので、数値が大きいほどよい。
20経常損失比率	営業収益に対する経常損失の割合を示す。数値が大きいほど、その企業固有の事業の収益性の低さが指摘される。
21累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の割合を示す。数値が大きいほど経営が悪化していることを示す。
22不良債務比率	営業収益に対する不良債務の割合を示す。数値が大きいほど経営状況が悪化していることを示す。

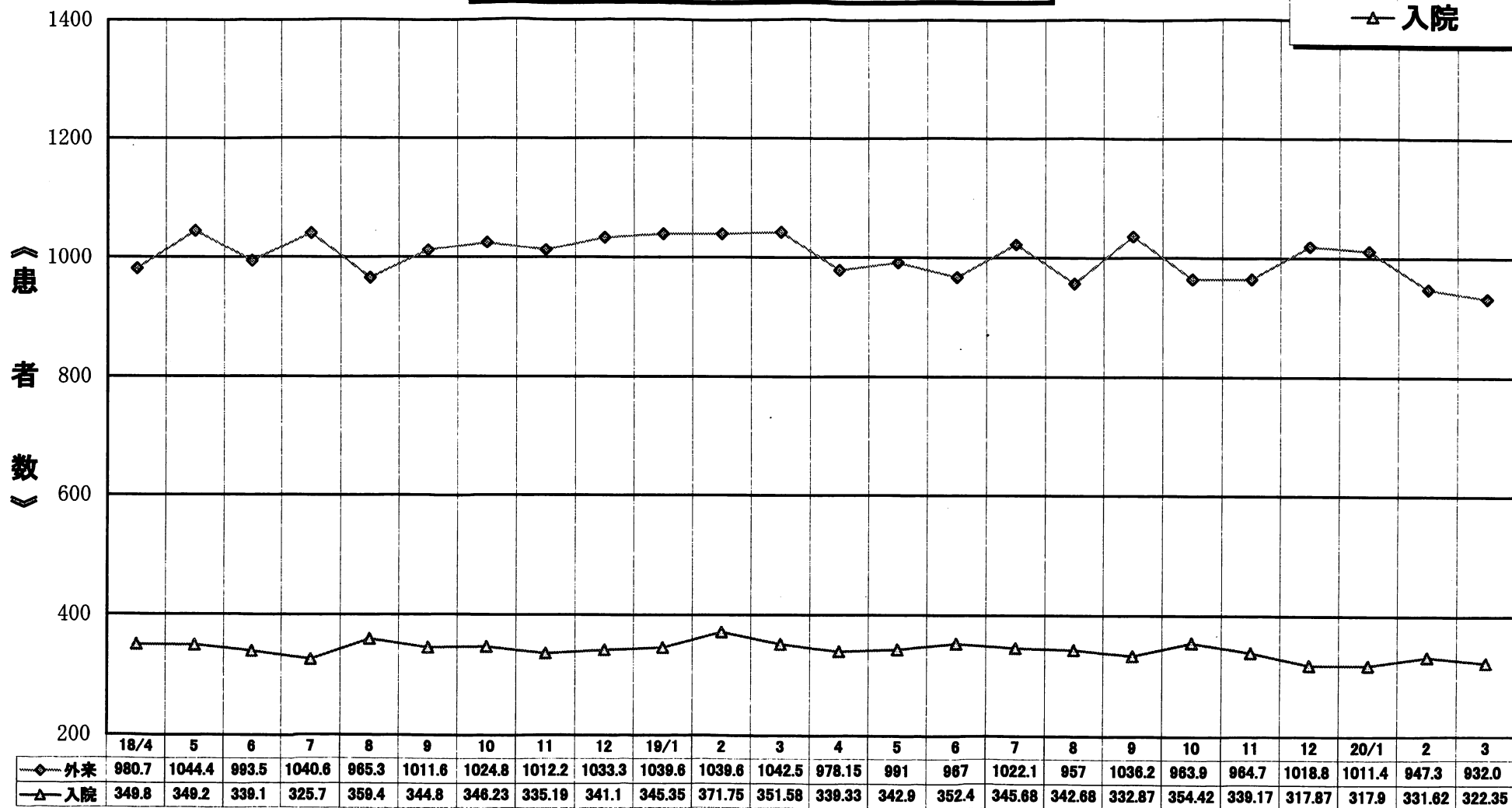
8. 業務の状況

(1) 飯田市立病院患者動向統計

区 分		年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	総 計	
外 来	総患者数	平成	16	21,075	19,868	22,149	21,655	21,534	21,283	20,932	21,479	21,418	20,444	19,618	23,376	254,831
			17	20,300	20,135	21,675	20,334	22,283	19,845	20,331	20,630	20,156	19,653	19,068	21,383	245,793
			18	19,613	20,888	21,858	20,812	22,202	20,231	21,520	20,244	20,666	19,752	19,752	21,893	249,431
			19	19,563	20,811	20,307	21,464	22,015	18,652	21,205	20,258	19,358	19,217	18,946	18,640	240,436
			20	18,017	17,837	17,968	19,169	17,316	17,732	19,450	17,017	18,163	17,952	17,052	19,186	216,859
	一日平均	平成	16	1,003.6	1,103.8	1,006.8	1,031.2	978.8	1,064.2	1,046.6	1,074.0	1,127.3	1,076.0	1,032.5	1,062.5	1,048.7
			17	1,015.0	1,059.7	985.2	1,016.7	968.8	992.3	1,016.6	1,031.5	1,060.8	1,034.4	953.4	972.0	1,007.3
			18	980.7	1,044.4	993.5	1,040.6	965.3	1,011.6	1,024.8	1,012.2	1,033.3	1,039.6	1,039.6	1,042.5	1,018.1
			19	978.2	991.0	967.0	1,022.1	957.2	1,036.2	963.9	964.7	1,018.8	1,011.4	947.3	932.0	981.4
			20	858.0	849.4	855.6	871.3	824.6	886.6	884.1	945.4	955.9	944.8	897.5	913.6	888.8
入 院	総患者数	平成	16	9,337	9,616	9,646	9,541	9,386	9,326	10,512	9,758	9,942	10,288	9,697	11,418	118,467
			17	10,538	10,529	10,050	10,069	9,237	9,378	10,481	9,685	9,703	9,708	10,238	11,103	120,719
			18	10,495	10,824	10,174	10,097	11,140	10,343	10,733	10,391	10,574	10,706	10,409	10,899	126,785
			19	10,180	10,630	10,572	10,716	10,623	9,986	10,987	10,175	9,854	9,855	9,617	9,993	123,188
			20	9,034	9,457	9,347	9,497	9,402	9,274	10,431	9,644	10,145	10,159	9,447	10,704	116,541
	一日平均	平成	16	311.2	310.2	321.5	307.8	302.8	310.9	339.1	325.3	320.7	331.9	346.3	368.3	324.6
			17	351.3	339.6	335.0	324.8	298.0	312.6	338.1	322.8	313.0	313.2	365.6	358.2	330.7
			18	349.8	349.2	339.1	325.7	359.4	344.8	346.2	346.4	341.1	345.4	371.8	351.6	347.4
			19	339.3	342.9	352.4	345.7	342.7	332.9	354.4	339.2	317.9	317.9	331.6	322.4	336.6
			20	301.1	305.1	311.6	306.4	303.3	309.1	336.5	321.5	327.3	327.7	337.4	345.3	319.3

月別一日平均患者数（市立病院）

◇ 外来
△ 入院



《年 月》

(2) 各科業務量

ア 入院

(平成20年度)

区分 月	内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	透視科	形成外科	歯科	ドック	一般患者数	伝染病棟	入院収益
4	人 2,082	人 853	人 649	人 463	人 1,562	人 1,116	人 409	人 275	人 20	人 809	人 0	人 313	人 147	人 0	人 13	人 252	人 71	人 0	人 9,034	人 0	円 471,922,559
5	1,608	748	837	549	1,658	1,502	509	300	14	994	0	182	236	8	21	230	61	0	9,457	0	495,053,500
6	1,867	659	702	604	1,764	1,377	413	329	32	949	0	238	115	21	48	171	58	0	9,347	0	470,061,703
7	2,242	630	554	643	1,629	1,164	523	366	70	921	0	238	91	0	0	316	110	0	9,497	0	501,344,023
8	2,211	614	565	408	1,630	1,336	522	385	69	1,000	0	261	97	0	1	239	64	0	9,402	0	476,772,678
9	1,946	533	767	515	1,554	1,298	419	403	85	1,011	0	217	184	0	22	229	91	0	9,274	0	461,455,466
10	2,209	645	823	590	1,636	1,505	532	347	82	1,169	0	334	133	3	20	264	139	0	10,431	0	535,333,527
11	1,829	625	716	624	1,629	1,384	668	374	39	1,106	0	213	113	0	24	224	76	0	9,644	0	442,077,970
12	2,109	627	893	757	1,558	1,507	625	202	81	1,175	0	272	85	16	0	198	40	0	10,145	0	504,405,416
1	2,318	754	994	703	1,359	1,544	715	275	84	881	0	300	64	0	16	104	48	0	10,159	0	497,297,766
2	2,170	617	747	534	1,436	1,501	581	354	54	876	0	243	71	0	16	173	74	0	9,447	0	470,070,085
3	2,181	653	813	626	1,805	1,774	719	296	102	919	0	361	129	0	8	247	71	0	10,704	0	543,891,783
計	24,772	7,958	9,060	7,016	19,220	17,008	6,635	3,906	732	11,810	0	3,172	1,465	48	189	2,647	903	0	116,541	0	5,869,686,476

イ 外 来

(平成20年度)

区分 月	内 科	神 経 内 科	循 環 器 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	泌 尿 器 科	皮 膚 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 科	麻 酔 科	透 析	形 成 外 科	歯 科	ド ック	患 者 数	高 松 診 療 所 患 者	外 来 収 益
4	人 3,126	人 823	人 1,309	人 1,425	人 1,920	人 2,226	人 434	人 909	人 916	人 1,405	人 304	人 910	人 486	人 12	人 587	人 655	人 396	人 174	人 18,017	人 570	円 164,491,858
5	3,002	871	1,200	1,517	1,856	2,078	436	836	933	1,416	443	977	502	12	541	638	392	187	17,837	583	176,750,831
6	3,031	805	1,195	1,462	1,910	2,161	416	811	940	1,541	459	955	466	11	515	722	367	201	17,968	580	181,429,316
7	3,270	955	1,275	1,584	2,009	2,247	436	836	1,021	1,601	479	963	472	17	558	799	431	216	19,169	642	189,050,071
8	2,844	790	1,019	1,410	1,878	2,085	384	781	984	1,457	370	930	465	20	540	780	392	187	17,316	547	170,237,896
9	2,865	785	1,145	1,352	2,027	2,078	413	832	930	1,666	440	885	425	59	544	711	375	200	17,732	595	178,026,624
10	3,139	870	1,305	1,584	1,994	2,341	446	890	1,033	1,794	457	968	669	20	582	687	452	219	19,450	585	196,036,288
11	2,819	686	1,119	1,479	1,838	1,938	398	750	885	1,517	457	856	574	11	550	619	342	179	17,017	618	171,497,277
12	3,141	774	1,121	1,535	1,983	2,017	406	811	907	1,617	486	924	555	12	613	706	367	188	18,163	626	185,421,130
1	3,055	770	1,227	1,543	1,897	2,055	378	851	876	1,556	546	910	422	12	601	663	402	188	17,952	576	184,388,723
2	2,814	768	1,101	1,315	1,724	1,973	373	781	843	1,405	590	879	710	12	557	621	396	190	17,052	531	181,321,459
3	3,044	842	1,187	1,515	2,055	2,206	440	810	1,013	1,640	623	1,106	706	13	593	763	492	138	19,186	554	198,300,714
計	36,150	9,739	14,203	17,721	23,091	25,405	4,960	9,898	11,281	18,615	5,654	11,263	6,452	211	6,781	8,364	4,804	2,267	216,859	7,007	2,176,952,187

ウ-1 時間外救急患者数

平成20年度

日・当	当 直														日 直													
指定日	通常日							輪番日							通常日							2次救急日・在宅当番						
月	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院
4月	18	124	138	262	65	47	24	12	203	106	309	58	56	22	7	50	116	166	27	21	14	2	38	33	71	11	7	1
5月	19	110	157	267	79	48	31	12	253	137	390	72	50	19	6	32	78	110	13	8	5	5	134	105	239	26	22	9
6月	17	77	124	201	65	39	20	13	295	144	439	63	53	23	4	34	62	96	16	7	4	5	91	100	191	23	17	10
7月	19	96	147	243	79	50	28	12	300	124	424	72	54	23	5	54	92	146	19	16	8	4	96	78	174	19	13	5
8月	19	112	146	258	80	50	28	12	254	124	378	64	82	33	8	74	105	179	28	21	14	2	81	34	115	9	9	6
9月	18	85	122	207	66	39	22	12	239	128	367	83	59	31	7	60	102	162	31	25	13	3	76	68	144	17	8	6
10月	19	86	182	268	101	39	20	12	242	111	353	71	50	22	4	49	66	115	19	20	10	5	95	89	184	34	23	11
11月	18	83	132	215	79	36	19	12	233	95	328	72	64	28	7	42	110	152	36	22	14	5	150	101	251	25	21	12
12月	18	95	149	244	89	55	33	13	297	130	427	77	79	29	7	59	141	200	37	21	16	5	142	147	289	33	26	11
1月	18	109	121	230	61	38	14	13	262	131	393	91	66	38	6	38	130	168	28	23	14	6	201	129	330	37	24	13
2月	18	96	118	214	63	55	28	10	190	96	286	45	44	23	4	32	51	83	21	10	8	5	86	85	171	22	12	7
3月	17	76	117	193	68	41	23	14	213	128	341	76	64	26	5	36	66	102	19	19	10	5	126	68	194	40	21	13
合計	218	1149	1653	2802	895	537	290	147	2981	1454	4435	844	721	317	70	560	1119	1679	294	213	130	52	1316	1037	2353	296	203	104
月平均	18.2	95.8	137.8	233.5	74.6	44.8	24.2	12.3	248.4	121.2	369.6	70.3	60.1	15.9	5.8	46.7	93.3	139.9	24.5	17.8	10.8	4.3	109.7	86.4	196.1	24.7	16.9	8.7
H20・1日平均		4.8	6.9	11.7	3.7	2.2	1.2		24.1	11.8	35.9	6.8	5.8	1.5		8.8	17.6	26.4	4.6	3.4	2.0		24.4	19.2	43.6	5.5	3.8	1.9

ウ-2 時間外救急患者数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
総数	13,998	12,980	14,575	14,121	14,187	12,687	11,269
初診	5,756	6,218	7,280	7,487	7,738	6,858	6,006
再来	8,242	6,755	7,295	6,634	6,449	5,819	5,263
入院	1,614	1,698	1,888	2,093	2,401	2,264	2,329
内 ICU入院	127	144	138	165	194	196	171
救急車	1,153	1,278	1,541	1,662	1,717	1,826	1,674
ヘリ	15	14	18	15	45(出13入32)	46(出10入36)	52(出6入46)
内入院	523	554	640	808	810	829	841
死亡(DOA)	46	62	65	48	50	33	36

24時間救急車情報

救急車(ヘリを含む)	1,937	2,130	2,477	2,714	2,703	2,906	2,729
入院(再掲)	887	1,001	1,218	1,403	1,154	1,448	1,491

エ-1 年度別手術件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
外科	818	832	892	887	919	866
整形外科	713	666	761	679	723	718
脳神経外科	147	92	108	139	118	79
(心臓血管外科)	72	68	45	30	0	3
泌尿器科	120	141	138	122	121	136
産婦人科	494	483	487	417	434	418
眼科	528	315	419	563	412	0
耳鼻咽喉科	136	158	161	162	163	162
皮膚科	15	17	3	6	0	11
形成外科	514	499	530	599	600	534
歯科口腔外科	84	71	86	78	66	68
内科	2	1	1	1	0	1
麻酔科			4	4	29	27
小児科						2
計	3,643	3,343	3,635	3,687	3,585	3,025

エ-2 がん年度別手術件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
肺がん	13	12	18	21	22	23
胃がん	69	90(10)	88(22)	89(16)	111(27)	87(18)
肝がん	16	25	11	6	8	11
大腸がん	73	93(21)	76(13)	82(13)	90(14)	110(6)
乳がん	73	53	66	68	96	70
子宮がん	18	16	30	20	25	21
その他のがん	265	248	205	178	168	225

()内は内数 内視鏡手術施行例数

才 血管造影件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
循環器科	464	444	458	404	387	387
放射線科	147	133	92	70	90	76
脳神経外科	56	61	54	50	27	22
他科			25	15	73	62
計	667	638	629	539	577	547

力 年度別分娩件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
経膈分娩	388	344	366	770	752	762
帝王切開	151	158	186	233	256	206
計	539	502	552	1,003	1,008	968

キ 年度別人工透析件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
透析件数	6,479	5,937	6,347	6,868	6,967	6,729

ク 年度別病理解剖数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
死亡数(人)	330	350	479	474	493	510
病理解剖(件)	6	5	13	10	12	10

ケ 放射線部年度別検査等件数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
一般撮影	38,157	38,111	39,038	42,073	42,732
X-TV	1,900	1,954	1,779	1,775	1,686
CT	8,807	10,389	10,961	11,225	10,932
RI	889	920	601	636	832
PET-CT			503	714	637
LINAC	6,689	5,232	8,062	6,605	6,857
RALS	38	39	48	34	38
MRI	3,779	3,510	3,596	3,628	3,284
超音波	8,812	9,447	9,760	10,490	10,138
血管撮影	615	578	552	580	564
計	69,686	70,180	74,900	77,760	77,700

コ 年度別給食数

種別 \ 年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
普通食	185,498	189,353	192,026	198,998	189,250	184,202
特別食	100,151	109,249	108,662	110,107	111,001	102,849
計	285,649	298,602	300,688	309,105	300,251	287,051

サ 年度別調剤件数

年度	外来			入院		
	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数
11年度	179,039	434,583	6,457,744	35,361	63,521	479,288
12年度	187,533	445,149	6,962,677	37,881	69,597	524,154
13年度	194,269	504,220	8,017,842	40,156	79,835	568,466
14年度	62,741 (116,291)	161,156	2,234,041 (90.6)	40,481	79,524	543,756
15年度	20,152 (136,190)	41,678	403,260 (92.5)	39,183	71,481	542,429
16年度	20,166 (127,103)	40,633	397,743 (86.3)	41,207	71,129	550,611
17年度	20,392 (118,345)	41,892	417,892 (85.4)	42,522	72,507	531,870
18年度	20,700 (117,109)	42,342	438,428 (85.0)	37,122	66,826	570,391
19年度	18,187 (109,136)	36,856	411,589 (85.7)	35,104	64,605	566,747
20年度	15,987 (111,973)	33,312	404,574 (85.7)	36,504	64,763	577,561

()内は院外処方箋発行枚数及び発行率

シ 年別治験取扱い件数

年度	第Ⅱ相	第Ⅲ相	第Ⅳ相	第Ⅳ相(市販 後臨床試験)
11年度	1		3	1
12年度	4		9	1
13年度	2	1	17	3
14年度	4	1	18	5
15年度			25	3
16年度			12	3
17年度		1	12	3
18年度		1	18	3
19年度			29	6
20年度			42(がん:6 共同試験:5)	

ス リハビリテーション科患者数

年度別単位数

	年度	P T	O T	S T	合計
外来	H 1 6	13,597	6,757	3,449	23,803
	H 1 7	12,648	8,353	3,763	24,764
	H 1 8	10,742	8,327	4,118	23,187
	H 1 9	11,191	8,003	4,344	23,583
	H 2 0	11,281	7,604	4,182	23,067
入院	H 1 6	18,407	6,524	3,648	28,579
	H 1 7	18,277	6,858	3,685	28,820
	H 1 8	20,796	7,982	4,830	33,608
	H 1 9	24,686	8,466	6,089	39,241
	H 2 0	27,930	10,913	6,821	45,664
合計	H 1 6	32,004	13,281	7,097	52,382
	H 1 7	30,925	15,211	7,448	53,584
	H 1 8	31,538	16,309	8,948	56,795
	H 1 9	35,877	16,469	10,433	62,824
	H 2 0	39,211	18,517	11,003	68,731

年度別人数

	年度	P T	O T	S T	合計
外来	H 1 6	8,441	6,757	3,449	18,647
	H 1 7	8,242	5,587	2,078	15,907
	H 1 8	6,867	5,801	2,147	14,815
	H 1 9	6,684	5,176	2,253	14,113
	H 2 0	6,740	4,833	2,115	13,688
入院	H 1 6	16,086	5,117	3,282	24,485
	H 1 7	16,362	5,584	3,199	25,145
	H 1 8	18,697	6,386	4,649	29,732
	H 1 9	20,808	6,202	4,542	31,552
	H 2 0	21,800	6,794	4,563	33,157
合計	H 1 6	24,527	11,874	6,731	43,132
	H 1 7	24,527	11,874	6,731	43,132
	H 1 8	25,564	12,187	6,796	44,547
	H 1 9	27,492	11,378	6,795	45,665
	H 2 0	28,540	11,627	6,678	46,845

	年度	脳血管リハ	運動器リハ	心血管リハ	呼吸器リハ	合計
外来	H 1 8	14,890	7,989	10	8	22,897
	H 1 9	15,072	8,271	35	12	23,421
	H 2 0	14,430	8,343	100	4	22,877
入院	H 1 8	20,596	10,985	841	279	32,701
	H 1 9	25,737	11,633	1,105	680	39,169
	H 2 0	30,037	12,663	1,598	571	44,869
合計	H 1 8	35,486	18,974	851	287	55,598
	H 1 9	40,896	19,904	1,140	691	62,732
	H 2 0	44,467	21,006	1,698	575	67,746

セ 検査科年度別集計

年度別件数

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注
16年度	45,573	105,944	124,217	74,907	17,712	8,935	30,752	37,282
17年度	42,818	114,323	140,986	80,500	13,464	8,084	30,329	42,997
18年度	40,937	123,341	155,930	87,378	14,549	6,828	31,848	45,516
19年度	43,192	128,721	160,246	91,017	14,762	6,995	31,071	33,084
20年度	41,529	132,741	162,026	98,383	15,480	6,801	30,970	23,135

年度別点数

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注
16年度	1,199,022	3,145,065	8,072,834	8,041,069	1,839,963	5,083,501	11,496,500	4,827,237
17年度	1,116,950	3,535,848	8,876,538	8,750,714	1,611,729	4,963,272	11,120,910	5,542,191
18年度	1,065,069	3,454,736	8,803,024	8,700,598	1,648,996	4,634,154	11,318,040	5,449,041
19年度	1,118,648	3,551,376	8,869,334	9,477,619	1,666,860	4,924,412	11,035,260	4,492,577
20年度	1,048,795	3,609,856	8,881,471	10,995,930	1,879,820	4,494,630	11,434,790	4,056,174

ソ 訪問看護ステーション利用状況

年度	利用者	訪問回数	内時間外
16年度	153	4,088	364(訪問124 電話240)
17年度	136	4,280	597(訪問254 電話343)
18年度	140	4,519	608(訪問281 電話327)
19年度	113	4,678	453(訪問183 電話270)
20年度	110	4,628	479(訪問177 電話302)

タ 訪問看護・訪問診療の状況

年度	患者数	訪問看護	訪問診療	訪問リハビリ	
				訪問リハ利用者	訪問回数
16年度	2	77	0	-	-
17年度	2	73	88	-	-
18年度	2	49	60	22	233
19年度	5	-	60	30	582
20年度	5	-	84	34	596

チ 在宅介護支援センター利用状況

年度	自立支援		在宅介護		
	委託料収入		居宅介護サービス 計画作成件数(件)	介護給付費合計 (千円)	月平均計画作成(件) ／ 介護給付費(千円)
	一般事業費(千円)	実態把握分(千円)			
16年度	2,775	1,172	657	5,666	55/472
17年度	2,775	1,188	601	5,205	50/434
18年度	720	720	585	6,535	49/545
19年度	720	720	718	8,734	59/727
20年度	720	720	742	8,845	61/737

ツ 人間ドック検診数

年度	外来	入院	合計
16年度	2,010	210(通院2日含む)	2,220
17年度	2,464		2,464
18年度	2,008	230	2,238
19年度	2,268	259	2,527
20年度	1,701	209	1,910

テ 医療福祉相談内容別件数

区分 年度	経済的 医療費 制度等	受診や 入院中 療養に ついて	在宅療 養につ いて	退院、 転院、 施設利 用につ いて	社会復 帰につ いて	介護保 険制度 につい て	心理 的、精 神的悩 み等	その他	計
16年度	214	21	222	292	3	358	9	98	1,217
17年度	542	61	334	378	5	443	25	165	1,953
18年度	494	86	319	619	5	579	10	138	2,250
19年度	631	57	141	1,570	0	818	5	617	3,839
20年度	492	54	187	3,893	16	517	157	307	5,623

ト 紹介患者数の推移

件

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
16年度	722	691	763	747	831	792	742	763	729	724	656	671	8,831
17年度	627	578	768	796	885	726	772	732	734	803	822	931	9,174
18年度	821	744	933	1,000	1,004	978	960	926	884	839	865	894	10,848
19年度	841	892	865	938	1,011	871	1,065	911	911	886	843	809	10,843
20年度	876	788	866	1,005	874	928	980	911	944	819	854	989	10,834

ナ 逆紹介患者数の推移

件

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
16年度	383	305	343	358	326	341	378	321	363	316	355	438	4,227
17年度	337	342	401	381	379	341	344	359	375	325	322	431	4,337
18年度	328	362	383	352	355	332	327	340	319	375	429	483	4,385
19年度	483	530	499	537	536	475	479	500	407	490	526	538	6,000
20年度	523	468	453	459	465	429	481	397	496	464	499	727	5,861

9. クリニカルインディケーター

(1) ICU入室及び再入室患者数(48時間以内)

		2006年			2007年			2008年		
		人	対延 数%	再入室 時	人	対延 数%	再入室 時	人	対延 数%	再入室 時
入室 患者数	延べ数	516			500			506		
	実数	485	94.0		483	96.6		476	94.1	
再入室 患者数	48時間以内	3	0.6	0	0	0.0	0	0	0.0	0
	3～7日以内	5	1.0	0	4	0.8	0	7	1.4	0

注)2007年の48時間以内と7日以内に同一患者1名(同一入院期間中)が含まれる

(2) 褥瘡深達度(ステージ)

		2006年			2007年			2008年		
深達度 (ステージ)		発生状況			発生状況			発生状況		
		院内	持込み	計	院内	持込み	計	院内	持込み	計
Ⅰ度	例数	4	0	4	1	1	2	1	2	3
	(%)	17.4	0.0	5.3	2.9	1.6	2.1	3.6	3.8	3.7
Ⅱ度	例数	15	11	26	22	8	30	20	20	40
	(%)	65.2	20.8	34.2	62.9	12.9	30.9	71.4	37.7	49.4
Ⅲ度	例数	4	30	34	12	32	44	7	23	30
	(%)	17.4	56.6	44.7	34.3	51.6	45.4	25.0	43.4	37.0
Ⅳ度	例数	0	12	12	0	21	21	0	8	8
	(%)	0.0	22.6	15.8	0.0	33.9	21.6	0.0	15.1	9.9
計	例数	23	53	76	35	62	97	28	53	81
	発生別割合%	30.3	69.7		36.1	63.9		34.6	65.4	

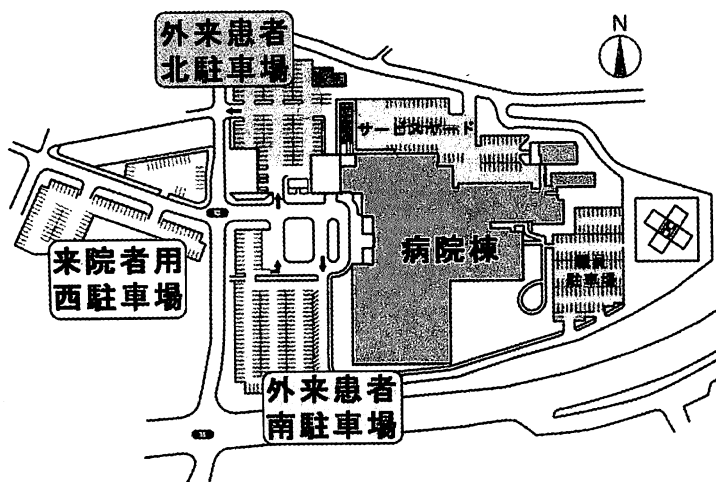
I：持続した発赤
II：真皮にいたる褥瘡
III：皮下組織にいたる褥瘡
IV：皮下組織を超え筋・骨にいたる褥瘡

(3) 予定しない再手術件数

		2006年					2007年					2008年				
科		24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%	24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%	24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%
外科		2	3	5	866	0.58	0	9	9	905	0.99	0	5	5	823	0.61
整形外科		0	5	5	704	0.71	0	4	4	640	0.63	0	5	5	646	0.77
形成外科		0	1	1	520	0.19	0	1	1	600	0.17	0	2	2	511	0.39
循環器科		0	2	2	193	1.04	0	0	0	188	0.00	0	1	1	231	0.43
耳鼻咽喉科		0	0	0	156	0.00	0	0	0	160	0.00	1	0	1	159	0.63
眼科		0	2	2	507	0.39	0	3	3	544	0.55	0	0	0	21	0.00
その他科		0	1	1	874	0.11	0	0	0	784	0.00	0	0	0	801	0.00
計		2	14	16	3820	0.42	0	17	17	3821	0.44	1	13	14	3192	0.44

		2006年					2007年					2008年				
科		24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%	24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%	24時間 以内	24時間 超	計	手術 件数	対手術 件数%
計		2	14	16	3820	0.42	0	17	17	3821	0.44	1	13	14	3192	0.44

駐車場ご利用案内

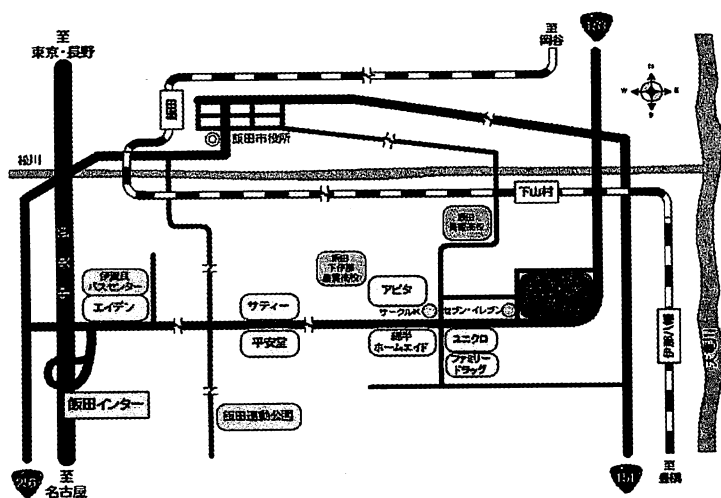


- ◎ 診察、検査の方は、北駐車場・南駐車場をご利用ください。
- ◎ 駐車料金が無料になりますので、中央受付にて駐車料金の無料化を受けてください。
- ◎ 車椅子使用者専用及び身障者駐車場（収容台数 4 台）をご利用の方は、職員にお申し出ください。
- ◎ 付き添いなどご来院の方は、西駐車場をご利用ください。

	収容台数	利用時間	利用料金
南駐車場	162 台	24 時間	60 分以内無料、以後 30 分ごとに 100 円
北駐車場	104 台		診察、検査の方は無料
西駐車場	114 台		無料

アクセスマップ

飯田市立病院までの各種交通手段



お車でお越しの方へ

- ・中央自動車道飯田 I.C. より車で 7 分（約 3.5km）

高速バスでお越しの方へ

- ・飯田バスセンター（飯田市内）より車で 7 分
- ・伊賀良停留所（飯田 I.C. 近く）より車で 7 分

J R お越しの方へ

- ・J R 飯田線飯田駅（飯田市内）より車で 10 分
- ・J R 飯田線伊那八幡駅より徒歩 15 分（約 1km）

飯田市 市民バス

- ・市内循環線
- ・飯田駅前 千代線
- ・飯田駅前 久堅線
- ・飯田駅前 三穂線

各線 市立病院バス停車

信南交通 乗合バス

- ・富田 氏乗線
- ・飯田 喬木大島線
- ・市田線（市立病院経由）
- ・遠山郷線

各線 市立病院バス停車

高速バス

東京方面から

- ・信南交通 新宿線

名古屋方面から

- ・信南交通 名古屋線



飯田市立病院

〒395-8502

長野県飯田市八幡町 438 番地

TEL.0265-21-1255(代表) FAX.0265-21-1266

<http://www.imh.jp/>

